

3月28日 中野区小児在宅医療研修会に参加させていただきました。
今回のテーマは、「小児在宅医療の多職種連携を考える」です。

中野区の在宅医療に関わる開業医の先生方、保健師さん、訪問看護ステーション、近隣基幹病院の医師やケースワーカーさん、放課後デイの方々に参加されました。

かみさぎキッズクリニック大谷先生のご講演をお聞きした後、各グループに別れ与えられたテーマについて、各職種の立場からディスカッションをしました。

医療ケアのあるお子さんが地域で暮らしていくために必要なサポートは多岐にわたり、個々の力を発揮するには職種の連携が必要になることを、再認識する機会となりました。そして、大谷先生のご講演の中にあっただ、「多職種がユニットを作ってサポートをする」という言葉がとても印象に残りました。訪問看護ステーションとして何ができるのか？「絵に描いた餅」にならないよう、しっかり考えていきたいと思えます。

貴重な機会をいただき、ありがとうございました！